



報道発表資料の配付日時 10月19日(水) 13時30分

発表項目 (行事名)	「令和元年度(2019年度)道民経済計算年報」について																																																		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	発表場所																																																
概要	<p>令和4年3月31日に公表した「令和元年度(2019年度)道民経済計算」に14(総合)振興局ごとの総生産等を推計した「地域編」を加え、「令和元年度(2019年度)道民経済計算年報」を作成しましたので、お知らせします。 (添付資料:「令和元年度(2019年度)道民経済計算年報の概要」)</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>①道内総生産は、製造業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業などが減少したことから、3年ぶりの減少。 ②1人当たり道民所得は、現行の計算方式となった平成23年度以降最高。格差は縮小しているものの、全国平均と比べると依然低い。 ③振興局別の総生産は石狩振興局がトップ、1人当たりの総生産は根室振興局がトップ。</p> <p><b>1 全道の状況</b></p> <p>1) 令和元年度道内総生産 ・名目 20兆4,646億円(前年度比0.3%減、全国シェア3.7%) ・実質 19兆9,983億円(前年度比1.0%減、全国シェア3.6%) ※名目:各年の市場価格で評価した値。実質:名目値から価格変動分を取り除いた値。 【要因】製造業(▲2.8%)、卸売・小売業(▲1.5%)、宿泊・飲食サービス業(▲7.2%)などが減少</p> <p>2) 令和元年度道民所得 ・1人当たり道民所得 283万2千円(前年度比+0.9%) 【参考】1人当たり国民所得 317万6千円(道民所得に比べ34万4千円多い) 全国との格差は縮小。</p> <p><b>2 振興局別の総生産</b></p> <p>・振興局別の総生産は石狩振興局がトップ ・1人当たりの総生産は根室振興局がトップ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>振興局名</th> <th>総生産(億円)</th> <th>1人当たり総生産(千円)</th> <th>振興局名</th> <th>総生産(億円)</th> <th>1人当たり総生産(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空知</td> <td>9,999</td> <td>3,480</td> <td>上川</td> <td>17,188</td> <td>3,532</td> </tr> <tr> <td>石狩</td> <td>92,124</td> <td>3,847</td> <td>留萌</td> <td>1,734</td> <td>3,940</td> </tr> <tr> <td>後志</td> <td>7,515</td> <td>3,715</td> <td>宗谷</td> <td>3,107</td> <td>4,915</td> </tr> <tr> <td>胆振</td> <td>17,819</td> <td>4,611</td> <td>ホーツク</td> <td>10,844</td> <td>3,907</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>2,494</td> <td>3,865</td> <td>十勝</td> <td>13,943</td> <td>4,161</td> </tr> <tr> <td>渡島</td> <td>13,375</td> <td>3,472</td> <td>釧路</td> <td>9,073</td> <td>4,023</td> </tr> <tr> <td>檜山</td> <td>1,344</td> <td>3,903</td> <td>根室</td> <td>4,086</td> <td>5,615</td> </tr> </tbody> </table>			振興局名	総生産(億円)	1人当たり総生産(千円)	振興局名	総生産(億円)	1人当たり総生産(千円)	空知	9,999	3,480	上川	17,188	3,532	石狩	92,124	3,847	留萌	1,734	3,940	後志	7,515	3,715	宗谷	3,107	4,915	胆振	17,819	4,611	ホーツク	10,844	3,907	日高	2,494	3,865	十勝	13,943	4,161	渡島	13,375	3,472	釧路	9,073	4,023	檜山	1,344	3,903	根室	4,086	5,615
振興局名	総生産(億円)	1人当たり総生産(千円)	振興局名	総生産(億円)	1人当たり総生産(千円)																																														
空知	9,999	3,480	上川	17,188	3,532																																														
石狩	92,124	3,847	留萌	1,734	3,940																																														
後志	7,515	3,715	宗谷	3,107	4,915																																														
胆振	17,819	4,611	ホーツク	10,844	3,907																																														
日高	2,494	3,865	十勝	13,943	4,161																																														
渡島	13,375	3,472	釧路	9,073	4,023																																														
檜山	1,344	3,903	根室	4,086	5,615																																														
参考	統計表等につきましては、下記ホームページでご覧いただけます。 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/keisan.htm">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/keisan.htm</a>																																																		
報道(取材)に当たってのお願い																																																			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)経済記者クラブ																																																	
担当 (連絡先)	経済部経済企画局経済企画課経済調査係 担当者:竹内、黒川 TEL ダイヤル 011-204-5140 (内線26-902)																																																		

# 令和元年度(2019年度)道民経済計算年報の概要

令和4年(2022年)10月  
北海道経済部経済企画局経済企画課

## ポイント

### □ 全道の状況

・経済成長率 令和元年度の本道経済は、名目・実質ともにマイナス成長

名目 ▲0.3% …3年ぶりの減少(全国 +0.2%)

実質 ▲1.0% …3年ぶりの減少(全国 ▲0.7%)

・道内総生産(生産側)

道内総生産(名目) 20兆4,646億円(対前年度▲634億円)

・道民所得

1人当たり道民所得 283万2千円(前年度比+0.9%、+2万4千円)

※1人当たり国民所得 317万6千円(前年度比▲0.2%、▲6千円)

### □ 振興局別の状況

・総生産は石狩振興局がトップ、1人当たりの総生産は根室振興局がトップ

振興局別総生産(上位5振興局)

①石狩9兆2,124億円 ②胆振1兆7,819億円 ③上川1兆7,188億円

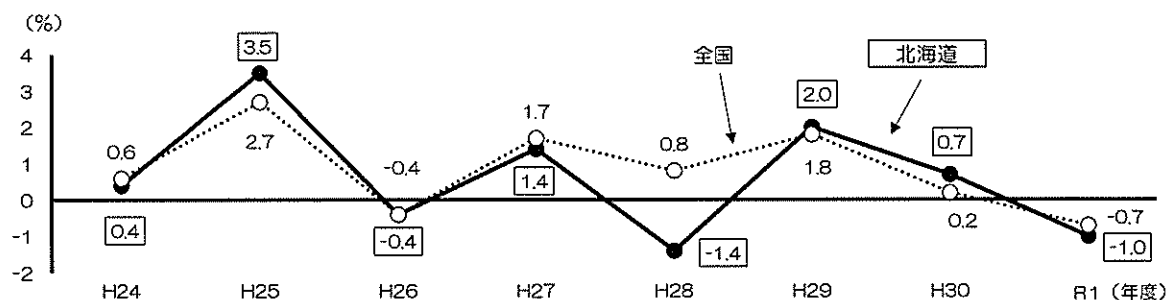
④十勝1兆3,943億円 ⑤渡島1兆3,375億円

人口1人当たり総生産(上位5振興局)

①根室5,615千円 ②宗谷4,915千円 ③胆振4,611千円

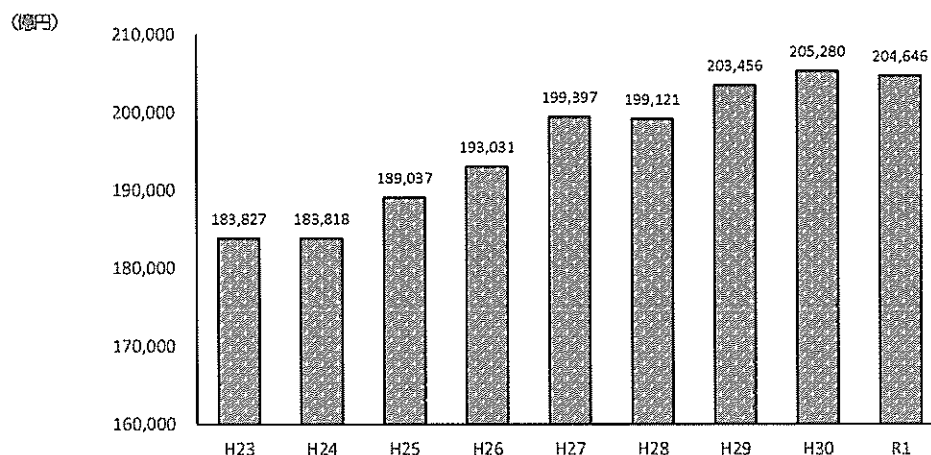
④十勝4,161千円 ⑤釧路4,023千円

経済成長率(実質)の推移



(注) 経済成長率は、道内・国内総生産の対前年度増加率

道内総生産(名目)の推移



(年度)

# 1 道内総生産（生産側）

- ・第1次産業は、農業が0.8%増加したが、水産業が12.1%減少したことなどから、全体では2.1%のマイナス。
- ・第2次産業は、建設業が3.2%増加したが、製造業が2.8%減少したことなどから、全体では0.1%のマイナス。
- ・第3次産業は、保健衛生・社会事業が3.7%などと増加したが、卸売・小売業が1.5%減少、宿泊・飲食サービス業が7.2%減少したことなどから、全体では0.1%のマイナス。

表1 道内総生産（生産側 名目）

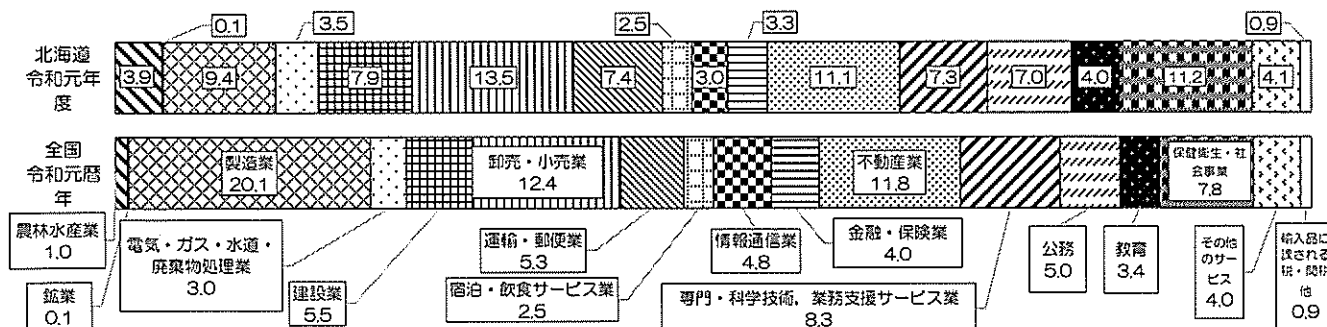
(単位:億円、%)

項目/年度	実数		対前年度増加率		構成比		増加寄与度	
	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
1. 農林水産業	8,077	7,912	-7.1	-2.1	3.9	3.9	-0.3	-0.1
(1) 農業	6,069	6,115	-7.7	0.8	3.0	3.0	-0.2	0.0
(2) 林業	259	258	-0.8	-0.0	0.1	0.1	-0.0	-0.0
(3) 水産業	1,750	1,538	-6.2	-12.1	0.9	0.8	-0.1	-0.1
2. 鉱業	278	276	-3.5	-0.6	0.1	0.1	-0.0	-0.0
3. 製造業	19,729	19,176	4.1	-2.8	9.6	9.4	0.4	-0.3
4. 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	7,096	7,196	5.5	1.4	3.5	3.5	0.2	0.0
5. 建設業	15,680	16,185	0.4	3.2	7.6	7.9	0.0	0.2
6. 卸売・小売業	27,969	27,554	-0.6	-1.5	13.6	13.5	-0.1	-0.2
7. 運輸・郵便業	15,375	15,236	0.9	-0.9	7.5	7.4	0.1	-0.1
8. 宿泊・飲食サービス業	5,591	5,188	0.8	-7.2	2.7	2.5	0.0	-0.2
9. 情報通信業	6,299	6,121	-0.6	-2.8	3.1	3.0	-0.0	-0.1
10. 金融・保険業	6,538	6,658	3.3	1.8	3.2	3.3	0.1	0.1
11. 不動産業	22,682	22,660	0.3	-0.1	11.0	11.1	0.0	-0.0
12. 専門・科学技術、業務支援サービス業	15,056	14,894	1.9	-1.1	7.3	7.3	0.1	-0.1
13. 公務	14,162	14,293	1.1	0.9	6.9	7.0	0.1	0.1
14. 教育	8,187	8,225	-0.4	0.5	4.0	4.0	-0.0	0.0
15. 保健衛生・社会事業	22,020	22,825	1.3	3.7	10.7	11.2	0.1	0.4
16. その他のサービス	8,445	8,368	1.4	-0.9	4.1	4.1	0.1	-0.0
17. 小計	203,186	202,766	0.8	-0.2	99.0	99.1	0.8	-0.2
18. 輸入品に課される税・関税	3,590	3,527	8.0	-1.7	1.7	1.7	0.1	-0.0
19. (控除) 総資本形成に係る消費税	1,496	1,647	4.2	10.1	0.7	0.8	-0.0	-0.1
20. 道内総生産 (17+18-19)	205,280	204,646	0.9	-0.3	100.0	100.0	0.9	-0.3
(再掲) 第1次産業	8,077	7,912	-7.1	-2.1	3.9	3.9	-0.3	-0.1
第2次産業	35,687	35,637	2.4	-0.1	17.4	17.4	0.4	-0.0
第3次産業	159,422	159,217	0.9	-0.1	77.7	77.8	0.7	-0.1
(参考) 道内総生産 (実質:2015暦年(平成27暦年)連鎖価格)	201,967	199,983	0.7	-1.0				

(注) 増加寄与度=(経済活動別の当年度総生産-前年度総生産)÷前年度道内総生産×100

・経済活動別総生産の構成比について全国と比較すると、農林水産業3.9%（全国1.0%）、建設業7.9%（同5.5%）、公務7.0%（同5.0%）などが全国に比べて高く、製造業9.4%（同20.1%）、情報通信業3.0%（同4.8%）、専門・科学技術、業務支援サービス業7.3%（同8.3%）などが全国に比べて低くなっている。

図2 道（国）内総生産の経済活動別構成比（%）



(注) 輸入品に課される税・関税他は「輸入品に課される税・関税、(控除) 総資本形成に係る消費税」全国にあつては繰上りの不適合を含む

## 2 道民所得

- ・財産所得が4.1%減少したものの、雇用者報酬が0.3%、企業所得が0.7%増加したことから、合計の道民所得は0.2%のプラス。
- ・1人当たり道民所得は、283万2千円と前年度に比べ2万4千円(0.9%)増加し、全国(317万6千円)との差は、平成30年度の37万4千円(対全国比88.2%)から34万4千円(同89.2%)に縮小した。

### 道民所得

(単位：億円、%)

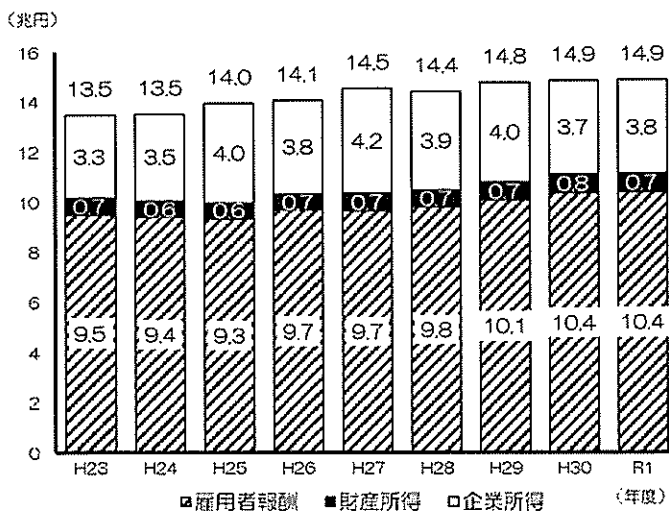
項目/年度	実数		対前年度増加率		構成比	
	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	令和元年度
	2018	2019	2018	2019	2018	2019
1 雇用者報酬	103,651	104,013	2.8	0.3	69.7	69.8
(1) 賃金・俸給	88,139	88,152	3.1	0.0	59.3	59.2
(2) 雇主の社会負担	15,511	15,861	1.5	2.3	10.4	10.7
2 財産所得(非企業部門)	7,508	7,197	7.3	-4.1	5.1	4.8
(1) 一般政府(地方政府等)	-2	30	98.5	1,347.3	-0.0	0.0
(2) 家計	7,359	7,025	4.9	-4.5	5.0	4.7
(3) 対家計民間非営利団体	152	143	7.3	-5.9	0.1	0.1
3 企業所得(企業部門の第1次所得バランス)	37,454	37,715	-6.5	0.7	25.2	25.3
(1) 民間法人企業	22,562	22,754	-3.6	0.8	15.2	15.3
(2) 公的企業	116	-17	9.7	-114.4	0.1	-0.0
(3) 個人企業	14,776	14,977	-10.7	1.4	9.9	10.1
4 道民所得(1+2+3)	148,613	148,924	0.5	0.2	100.0	100.0

### 1人当たり道民・国民所得の推移

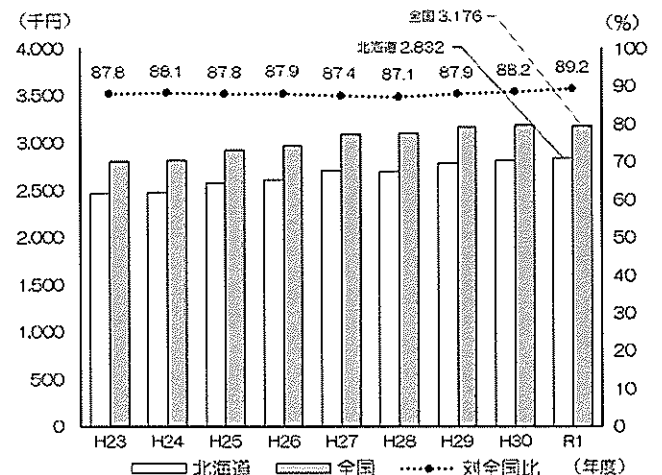
(単位：千円、%)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
北海道	2,456	2,475	2,568	2,603	2,700	2,693	2,777	2,808	2,832
全国	2,798	2,808	2,925	2,961	3,090	3,091	3,161	3,182	3,176
対全国比	87.8	88.1	87.8	87.9	87.4	87.1	87.9	88.2	89.2

#### 道民所得の推移



#### 1人当たり道(国)民所得の推移



### 3 道内総生産（支出側）

- ・民間需要は、家計最終消費支出の減少により、前年度比で0.4%のマイナス。
- ・公的需要は、地方政府等最終消費支出や公的総固定資本形成の増加などにより、3.6%のプラス。  
公的需要の割合は28.8%となり、全国（25.2%）に比べて3.6ポイント高くなっている。

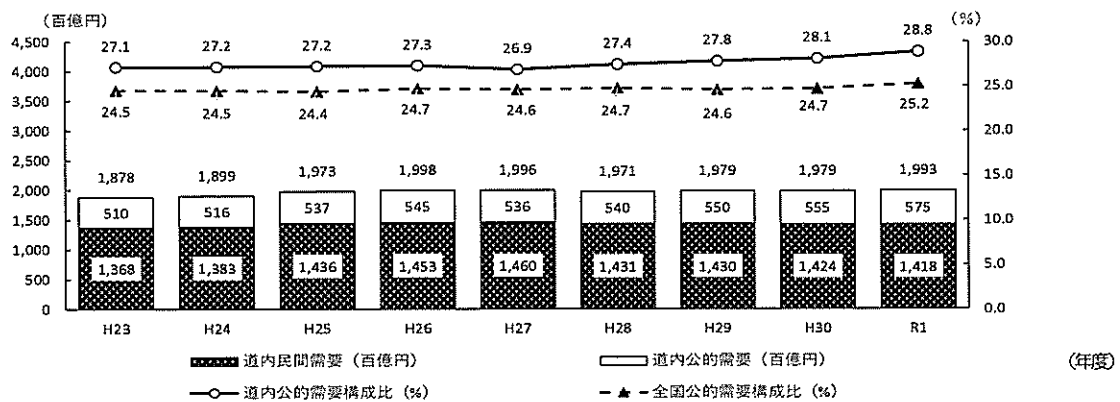
#### 道内総生産（支出側 名目）

(単位：億円、%)

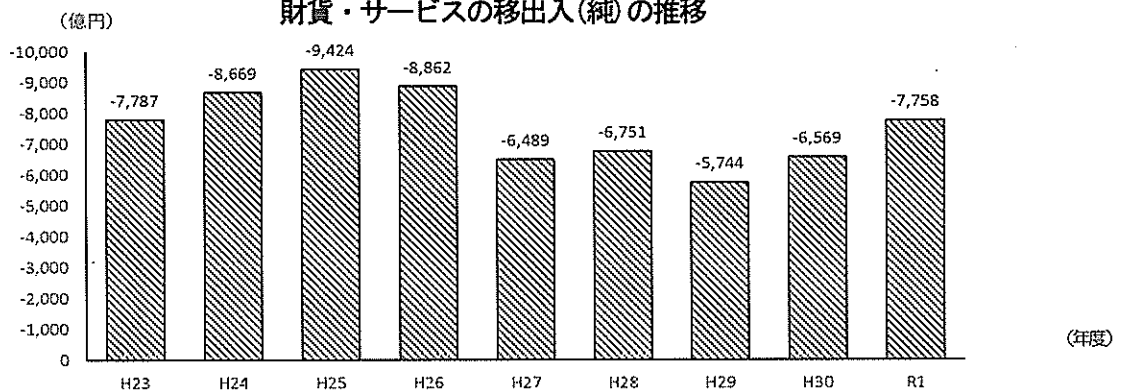
項目／年度	実数		対前年度増加率		構成比		増加寄与度		(参考) 全国構成比	
	平成30年度 2018	令和元年度 2019	平成30年度 2018	令和元年度 2019	平成30年度 2018	令和元年度 2019	平成30年度 2018	令和元年度 2019	平成30年度 2018	令和元年度 2019
1. 民間最終消費支出	120,007	118,182	-0.5	-1.5	58.5	57.7	-0.3	-0.9	54.8	54.5
(1) 家計最終消費支出	117,658	115,555	-0.3	-1.8	57.3	56.5	-0.2	-1.0	53.6	53.1
(2) 対家計民間非営利団体最終消費支出	2,349	2,628	-9.2	11.9	1.1	1.3	-0.1	0.1	1.2	1.3
2. 地方政府等最終消費支出	39,847	40,333	1.2	1.2	19.4	19.7	0.2	0.2	19.6	20.1
3. 道内総資本形成	38,062	40,834	0.2	7.3	18.5	20.0	0.0	1.4	25.7	25.8
(1) 総固定資本形成	37,577	40,638	-3.2	8.1	18.3	19.9	-0.6	1.5	25.3	25.6
a 民間	21,904	23,472	-5.6	7.2	10.7	11.5	-0.6	0.8	20.2	20.3
(a) 住宅	6,586	7,570	-11.5	14.9	3.2	3.7	-0.4	0.5	3.7	3.8
(b) 企業設備	15,318	15,902	-2.8	3.8	7.5	7.8	-0.2	0.3	16.5	16.5
b 公的	15,673	17,166	0.4	9.5	7.6	8.4	0.0	0.7	5.1	5.3
(a) 住宅	532	525	-5.5	-1.4	0.3	0.3	-0.0	-0.0	0.1	0.1
(b) 企業設備	2,710	2,959	5.4	9.2	1.3	1.4	0.1	0.1	1.2	1.2
(c) 一般政府	12,431	13,682	-0.3	10.1	6.1	6.7	-0.0	0.6	3.8	4.0
(2) 在庫変動	485	195	160.2	-59.7	0.2	0.1	0.6	-0.1	0.4	0.2
a 民間企業	479	188	160.2	-60.8	0.2	0.1	0.6	-0.1	0.4	0.2
b 公的(公的企業・一般政府)	6	7	156.6	29.6	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.0	-0.0
4. 財貨・サービスの移出入(純)・統計上の不突合	7,363	5,297	33.5	-28.1	3.6	2.6	0.9	-1.0	-0.1	-0.3
(1) 財貨・サービスの移出入(純)	-6,569	-7,758	-14.4	-18.1	-3.2	-3.8	-0.4	-0.6	-0.1	-0.3
(2) 統計上の不突合	13,932	13,055	23.7	-6.3	6.8	6.4	1.3	-0.4	-	-
5. 道内総生産(支出側) (1+2+3+4)	205,280	204,646	0.9	-0.3	100.0	100.0	0.9	-0.3	100.0	100.0
(再掲) 民間需要	142,390	141,842	-0.4	-0.4	71.9	71.2	-0.3	-0.3	75.3	74.8
公的需要	55,526	57,507	1.0	3.6	28.1	28.8	0.3	1.0	24.7	25.2
道(国)内需要	197,917	199,349	-0.0	0.7	100.0	100.0	-0.0	0.7	100.0	100.0

(注) 民間需要 民間最終消費支出+民間総固定資本形成+民間在庫変動 公的需要 地方政府等最終消費支出+公的総固定資本形成+公的在庫変動

#### 道(国)内需要(名目)の推移



#### 財貨・サービスの移出入(純)の推移



## 4 地域

### (1) 振興局別総生産（名目）

#### ① 総生産

令和元年度の総生産を振興局別にみると、石狩が9兆2,124億円で最も多く、全体の45.0%を占め、次いで胆振1兆7,819億円（同8.7%）、上川1兆7,188億円（同8.4%）、十勝1兆3,943億円（同6.8%）、渡島1兆3,375億円（同6.5%）と続き、上位5振興局で15兆4,449億円、全体の75.5%を占めた。

#### ② 対前年度増加率

令和元年度の振興局別総生産の対前年度増加率をみると、宗谷（3.2%）、根室（1.8%）、檜山（1.4%）、空知（0.8%）、釧路（0.4%）、石狩（0.1%）の計6振興局がプラスとなった。

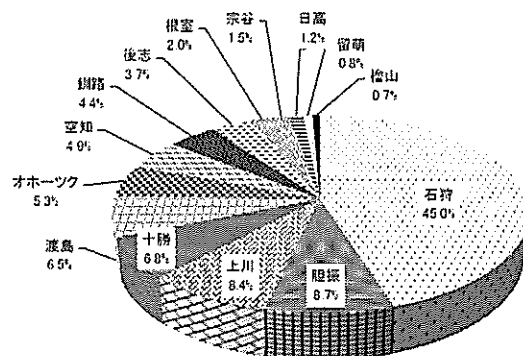
一方、後志（▲1.7%）、十勝（▲1.6%）、オホーツク（▲1.6%）、胆振（▲1.5%）、留萌（▲1.1%）、渡島（▲0.9%）、日高（▲0.7%）、上川（▲0.3%）の計8振興局でマイナスとなった。

振興局別総生産

（単位：億円、%）

振興局	実 数					RI (2019) 構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	RI 2019		H30 2018	RI 2019	H30 2018	RI 2019
空知	9,666	9,729	10,084	9,923	9,999	4.9	-1.6	0.8	-0.1	0.0
石狩	88,158	88,564	90,580	92,034	92,124	45.0	1.6	0.1	0.7	0.0
後志	7,324	7,360	7,532	7,643	7,515	3.7	1.5	-1.7	0.1	-0.1
胆振	18,376	17,101	17,243	18,087	17,819	8.7	4.9	-1.5	0.4	-0.1
日高	2,473	2,540	2,677	2,511	2,494	1.2	-6.2	-0.7	-0.1	0.0
渡島	13,320	13,139	13,453	13,498	13,375	6.5	0.3	-0.9	0.0	-0.1
檜山	1,231	1,241	1,271	1,325	1,344	0.7	4.3	1.4	0.0	0.0
上川	17,053	17,029	17,370	17,245	17,188	8.4	-0.7	-0.3	-0.1	0.0
留萌	1,730	1,727	1,756	1,754	1,734	0.8	-0.1	-1.1	0.0	0.0
宗谷	2,925	2,989	3,017	3,010	3,107	1.5	-0.2	3.2	0.0	0.0
オホーツク	10,922	11,348	11,434	11,020	10,844	5.3	-3.6	-1.6	-0.2	-0.1
十勝	13,511	13,664	14,242	14,177	13,943	6.8	-0.5	-1.6	0.0	-0.1
釧路	8,913	8,784	8,869	9,040	9,073	4.4	1.9	0.4	0.1	0.0
根室	3,796	3,916	3,929	4,013	4,086	2.0	2.1	1.8	0.0	0.0
全道	199,397	199,121	203,456	205,280	204,646	100.0	0.9	-0.3	0.9	-0.3

振興局別総生産のシェア（令和元年度）



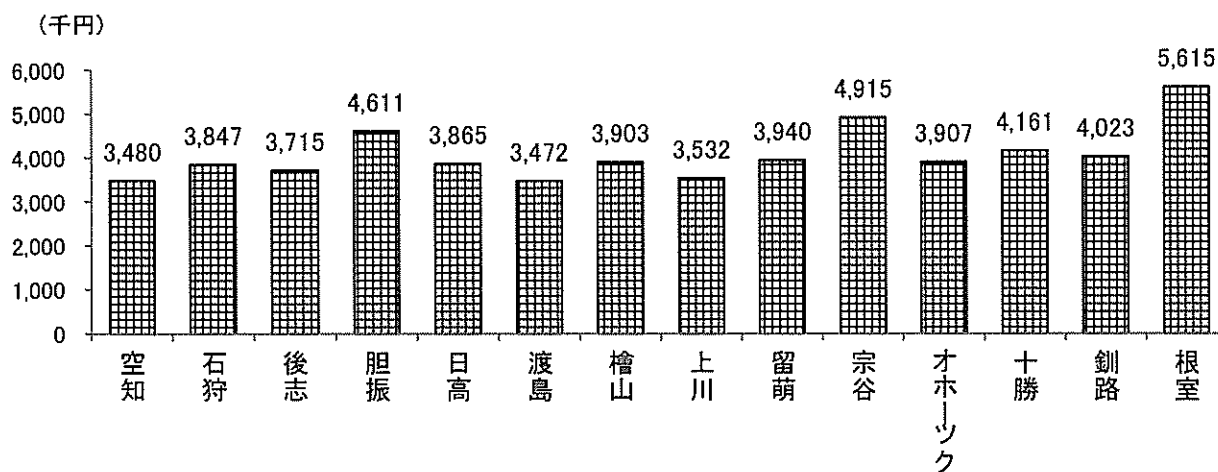
(注) 1 対前年度増加寄与度 = (振興局の当年度総生産 - 前年度総生産) ÷ 全道の前年度総生産 × 100 (以下、各表同様)

2 四捨五入の関係で、内訳項目の合計が合計項目の係数と一致しない場合がある。(以下、各図表同様)

#### ③ 1人当たり総生産

令和元年度の1人当たり総生産は、根室が5,615千円と最も高くなっており、次いで宗谷4,915千円、胆振4,611千円、十勝4,161千円、釧路4,023千円となった。

振興局別の1人当たり総生産



(注) 1 1人当たり総生産 = 振興局の総生産 ÷ 振興局の人口

2 振興局の人口は、総務省「国勢調査」により補間推計の上、全道値（人口推計）とのギャップを修正。

3 全道では3,891千円。

## (2) 経済活動別総生産

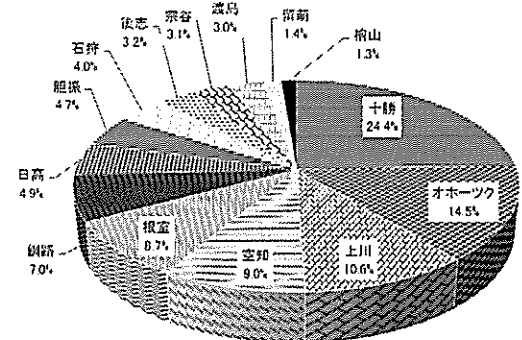
### ① 農業

- ・ 振興局別にみると、十勝が1,492億円で最も多く、全体の24.4%を占め、次いでオホーツク884億円、上川649億円、空知553億円、根室534億円と上位5振興局で4,112億円、全道の67.2%を占めた。
- ・ 全道増加率(0.8%)に対する寄与度をみると、上川(1.1%)、空知(0.9%)、石狩(0.2%)など9振興局でプラスとなり、十勝(▲1.0%)、オホーツク(▲0.4%)、後志(▲0.2%)など5振興局でマイナスとなった。

農業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H27	H28	H29	H30	R1		R1	H30	R1	H30
空知	499	493	583	499	553	9.0	-14.3	10.8	-1.3	0.9
石狩	239	235	260	237	246	4.0	-8.9	3.9	-0.4	0.2
後志	193	218	226	208	198	3.2	-8.1	-5.0	-0.3	-0.2
胆振	270	289	307	281	289	4.7	-8.5	2.6	-0.4	0.1
日高	267	293	327	310	301	4.9	-5.2	-2.8	-0.3	-0.1
渡島	160	172	183	182	182	3.0	-0.6	-0.3	-0.0	-0.0
檜山	75	79	87	78	80	1.3	-11.3	2.9	-0.2	0.0
上川	619	628	688	582	649	10.6	-15.4	11.4	-1.6	1.1
留萌	81	89	94	83	88	1.4	-11.1	5.1	-0.2	0.1
宗谷	177	190	205	192	192	3.1	-6.4	0.2	-0.2	0.0
オホーツク	867	914	946	905	884	14.5	-4.4	-2.4	-0.6	-0.4
十勝	1,373	1,390	1,657	1,554	1,492	24.4	-6.2	-4.0	-1.6	-1.0
釧路	369	407	448	424	428	7.0	-5.3	0.9	-0.4	0.1
根室	459	498	560	534	534	8.7	-4.8	0.2	-0.4	0.0
全道	5,648	5,894	6,572	6,069	6,115	100.0	-7.7	0.8	-7.7	0.8

農業の全道シェア(令和元年度)



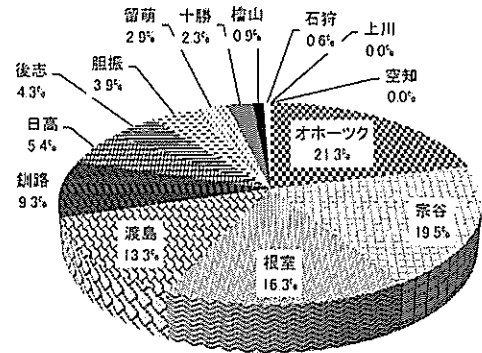
### ② 水産業

- ・ 振興局別にみると、オホーツクが328億円で最も多く、全体の21.3%を占め、次いで宗谷299億円、根室251億円、渡島205億円、釧路142億円と上位5振興局で1,225億円、全道の79.6%を占めた。
- ・ 全道増加率(▲12.1%)に対する寄与度をみると、後志(0.1%)がプラスとなり、渡島(▲5.2%)、オホーツク(▲1.6%)、胆振(▲1.4%)など12振興局でマイナスとなった。

水産業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H27	H28	H29	H30	R1		R1	H30	R1	H30
空知	0	0	0	0	0	0.0	100.0	-100.0	0.0	-0.0
石狩	12	12	17	11	9	0.6	-36.0	-18.2	-0.3	-0.1
後志	60	61	73	64	66	4.3	-12.2	1.9	-0.5	0.1
胆振	121	102	102	85	61	3.9	-16.1	-29.1	-0.9	-1.4
日高	109	93	91	99	83	5.4	8.6	-16.2	0.4	-0.9
渡島	401	354	308	296	205	13.3	-4.0	-30.6	-0.7	-5.2
檜山	17	20	18	16	14	0.9	-11.0	-8.0	-0.1	-0.1
上川	0	0	0	0	0	0.0	-33.3	0.0	-0.0	0.0
留萌	51	57	72	57	45	2.9	-19.9	-22.1	-0.8	-0.7
宗谷	252	294	306	308	299	19.5	0.9	-2.9	0.1	-0.5
オホーツク	403	375	417	356	328	21.3	-14.7	-7.7	-3.3	-1.6
十勝	50	40	37	35	35	2.3	-3.8	-0.5	-0.1	-0.0
釧路	184	161	156	149	142	9.3	-4.3	-4.5	-0.4	-0.4
根室	349	306	269	273	251	16.3	1.2	-8.1	0.2	-1.3
全道	2,098	1,875	1,866	1,750	1,536	100.0	-6.2	-12.1	-6.2	-12.1

水産業の全道シェア(令和元年度)



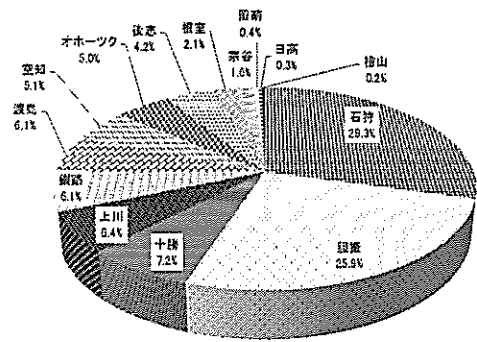
### ③ 製造業

- ・ 振興局別にみると、石狩が5,613億円で最も多く、全体の29.3%を占め、次いで胆振が4,966億円、十勝1,375億円、上川1,232億円、釧路1,171億円と上位5振興局では1兆4,357億円、全体の74.9%を占めた。
- ・ 全道増加率(▲2.8%)に対する寄与度をみると、上川、宗谷、釧路(各0.4%)など5振興局がプラスとなり、胆振(▲2.1%)、十勝(▲1.1%)、空知、渡島、オホーツク(各▲0.2%)など9振興局がマイナスとなった。

製造業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実数					構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H27	H28	H29	H30	R1		R1	H30	R1	H30
空知	1,003	1,012	1,010	1,013	979	5.1	0.2	-3.3	0.0	-0.2
石狩	5,382	5,518	5,483	5,613	5,613	29.3	2.4	-0.0	0.7	-0.0
後志	901	797	815	833	815	4.2	2.2	-2.3	0.1	-0.1
胆振	5,931	4,796	4,765	5,388	4,966	25.9	13.1	-7.8	3.3	-2.1
日高	94	78	80	85	65	0.3	5.8	-23.4	0.0	-0.1
渡島	1,170	1,117	1,196	1,213	1,165	6.1	1.4	-3.9	0.1	-0.2
檜山	48	47	49	51	38	0.2	5.5	-25.8	0.0	-0.1
上川	1,086	1,098	1,148	1,161	1,232	6.4	1.1	6.1	0.1	0.4
留萌	114	81	81	77	78	0.4	-4.4	1.0	-0.0	0.0
宗谷	248	256	254	220	307	1.6	-13.6	39.9	-0.2	0.4
オホーツク	985	1,343	1,239	1,012	967	5.0	-18.3	-4.5	-1.2	-0.2
十勝	1,612	1,536	1,448	1,586	1,375	7.2	9.6	-13.3	0.7	-1.1
釧路	1,221	1,060	1,041	1,099	1,171	6.1	5.6	6.6	0.3	0.4
根室	377	411	350	379	406	2.1	8.2	7.2	0.2	0.1
全道	20,172	19,150	18,959	19,729	19,176	100.0	4.1	-2.8	4.1	-2.8

製造業の全道シェア(令和元年度)



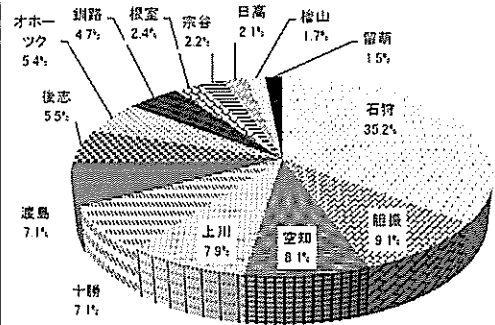
④ 建設業

- 振興局別にみると、石狩が5,700億円で最も多く、全体の35.2%を占め、次いで胆振1,475億円、空知1,313億円、上川1,272億円、十勝1,154億円と上位5振興局で1兆914億円、全体の67.4%を占めた。
- 全道増加率(3.2%)に対する寄与度をみると、胆振(1.4%)、石狩(0.9%)など10振興局でプラスとなる一方、後志、上川(各▲0.4%)など4振興局でマイナスとなった。

建設業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実 数					構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H27	H28	H29	H30	R1		R1	H30	R1	H30
空知	1,022	1,144	1,306	1,220	1,313	8.1	-6.6	7.7	-0.5	0.6
石狩	4,836	4,953	5,380	5,557	5,700	35.2	3.3	2.6	1.1	0.9
後志	677	785	839	949	888	5.5	13.1	-6.4	0.7	-0.4
胆振	1,083	1,111	1,054	1,259	1,475	9.1	19.5	17.2	1.3	1.4
日高	318	401	476	307	341	2.1	-35.5	11.1	-1.1	0.2
渡島	1,056	973	1,086	1,080	1,145	7.1	-0.5	6.0	-0.0	0.4
檜山	182	183	189	244	278	1.7	28.7	14.1	0.3	0.2
上川	1,416	1,411	1,450	1,337	1,272	7.9	-7.8	-4.9	-0.7	-0.4
留萌	236	249	231	255	249	1.5	10.7	-2.7	0.2	-0.0
宗谷	344	341	303	330	390	2.2	8.9	6.2	0.2	0.1
オホーツク	904	988	1,014	921	867	5.4	-9.2	-5.8	-0.6	-0.3
十勝	912	1,136	1,320	1,121	1,154	7.1	-15.0	2.9	-1.3	0.2
釧路	626	674	631	748	766	4.7	18.5	2.5	0.7	0.1
根室	299	370	341	354	387	2.4	3.7	9.3	0.1	0.2
全道	13,910	14,719	15,617	15,680	16,185	100.0	0.4	3.2	0.4	3.2

建設業の全道シェア(令和元年度)



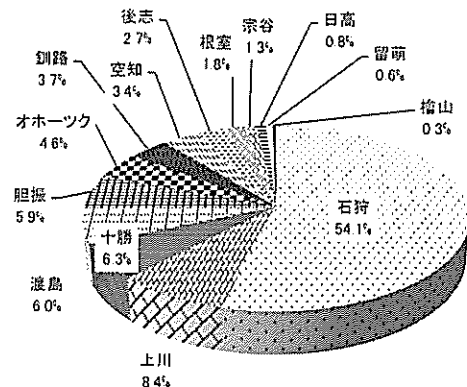
⑤ 卸売・小売業

- 振興局別にみると、石狩が1兆4,896億円で最も多く、全体の54.1%を占め、次いで上川2,308億円、十勝1,737億円、渡島1,658億円、胆振1,625億円と上位5振興局で2兆2,224億円、全体の80.7%を占めた。
- 全道増加率(▲1.5%)に対する寄与度をみると、石狩(▲0.9%)、上川(▲0.1%)、釧路(▲0.1%)など、全ての振興局でマイナスとなった。

卸売・小売業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実 数					構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H27	H28	H29	H30	R1		R1	H30	R1	H30
空知	960	957	975	954	937	3.4	-2.2	-1.7	-0.1	-0.1
石狩	14,808	14,582	15,147	15,140	14,896	54.1	-0.0	-1.6	-0.0	-0.9
後志	766	763	779	764	750	2.7	-2.0	-1.7	-0.1	-0.0
胆振	1,601	1,599	1,653	1,642	1,625	5.9	-0.7	-1.0	-0.0	-0.1
日高	230	230	234	229	226	0.8	-2.1	-1.5	-0.0	-0.0
渡島	1,642	1,639	1,692	1,677	1,658	6.0	-0.9	-1.1	-0.1	-0.1
檜山	91	90	90	87	85	0.3	-3.6	-2.6	-0.0	-0.0
上川	2,313	2,305	2,370	2,341	2,308	8.4	-1.2	-1.4	-0.1	-0.1
留萌	174	174	179	176	174	0.6	-1.4	-1.1	-0.0	-0.0
宗谷	364	365	376	372	369	1.3	-0.9	-1.0	-0.0	-0.0
オホーツク	1,265	1,263	1,298	1,281	1,264	4.6	-1.3	-1.3	-0.1	-0.1
十勝	1,703	1,705	1,764	1,752	1,737	6.3	-0.6	-0.9	-0.0	-0.1
釧路	1,072	1,056	1,078	1,057	1,032	3.7	-1.9	-2.3	-0.1	-0.1
根室	490	488	502	496	490	1.8	-1.2	-1.3	-0.0	-0.0
全道	27,479	27,214	28,138	27,969	27,554	100.0	-0.6	-1.5	-0.6	-1.5

卸売・小売業の全道シェア(令和元年度)



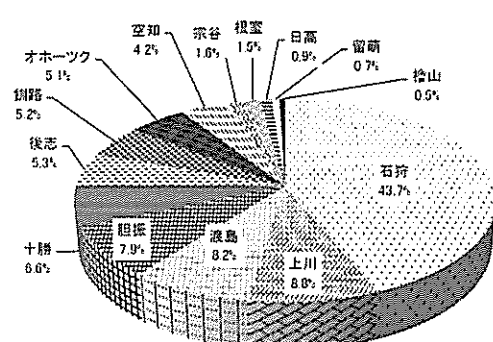
⑥ 宿泊・飲食サービス業

- 振興局別にみると、石狩が2,268億円で最も多く、全体の43.7%を占め、次いで上川454億円、渡島426億円、胆振411億円、十勝341億円と上位5振興局で3,900億円、全体の75.2%を占めた。
- 全道増加率(▲7.2%)に対する寄与度をみると、石狩(▲2.8%)、上川、胆振(各▲0.7%)など全ての振興局でマイナスとなった。

宿泊・飲食サービス業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	実 数					構成比	対前年度増加率		対前年度増加寄与度	
	H27	H28	H29	H30	R1		R1	H30	R1	H30
空知	206	224	231	232	216	4.2	0.5	-7.0	0.0	-0.3
石狩	2,107	2,301	2,393	2,422	2,268	43.7	1.2	-6.4	0.5	-2.8
後志	258	289	299	301	276	5.3	0.6	-8.3	0.0	-0.4
胆振	394	435	448	449	411	7.9	0.1	-8.5	0.0	-0.7
日高	48	52	54	54	49	0.9	-0.3	-8.9	-0.0	-0.1
渡島	402	444	459	462	426	8.2	0.5	-7.8	0.0	-0.6
檜山	26	28	28	28	25	0.5	-2.4	-11.0	-0.0	-0.1
上川	443	483	496	495	454	8.8	-0.2	-8.2	-0.0	-0.7
留萌	37	40	40	40	36	0.7	-1.6	-9.8	-0.0	-0.1
宗谷	81	89	90	89	80	1.6	-1.2	-9.8	-0.0	-0.2
オホーツク	256	280	288	288	264	5.1	-0.1	-8.3	-0.0	-0.4
十勝	309	342	358	364	341	6.6	1.7	-6.4	0.1	-0.4
釧路	244	271	282	286	267	5.2	1.5	-6.7	0.1	-0.3
根室	72	79	82	82	75	1.5	0.3	-8.2	0.0	-0.1
全道	4,882	5,356	5,549	5,591	5,188	100.0	0.8	-7.2	0.8	-7.2

宿泊・飲食サービス業の全道シェア(令和元年度)





⑦ 保健衛生・社会事業

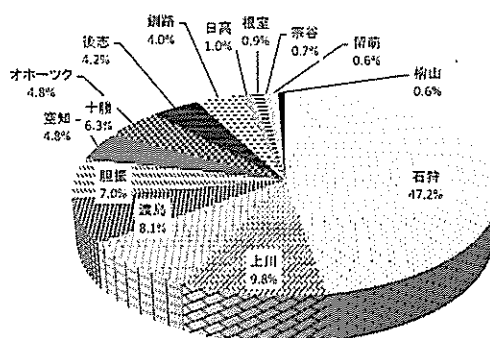
- ・ 振興局別にみると、石狩が1兆778億円で最も多く、全体の47.2%を占め、次いで上川2,240億円、渡島1,855億円、胆振1,604億円、十勝1,438億円と上位5振興局で1兆7,915億円、全体の78.5%を占めた。
- ・ 全道増加率(3.7%)に対する寄与度をみると、石狩(2.0%)、渡島、上川、十勝(各0.3%)など全ての振興局でプラスとなった。

保健衛生・社会事業の振興局別総生産 (単位:億円、%)

振興局	業 数					構成比 RI	対前年度増加率		対前年度増加率与度	
	H27	H28	H29	H30	RI		H30	RI	H30	RI
空知	1,106	1,106	1,085	1,083	1,104	4.8	-0.2	1.9	-0.0	0.1
石狩	9,864	10,115	10,144	10,342	10,778	47.2	2.0	4.2	0.9	2.0
後志	927	934	917	921	950	4.2	0.3	3.1	0.0	0.1
胆振	1,591	1,598	1,570	1,567	1,604	7.0	-0.2	2.4	-0.0	0.2
日高	223	225	224	225	231	1.0	0.3	2.6	0.0	0.0
渡島	1,701	1,746	1,751	1,781	1,855	8.1	1.8	4.1	0.1	0.3
檜山	121	125	127	129	134	0.6	2.1	3.8	0.0	0.0
上川	2,158	2,183	2,160	2,181	2,240	9.8	1.0	2.7	0.1	0.3
留萌	137	139	139	140	144	0.6	0.8	3.2	0.0	0.0
宗谷	147	149	146	149	153	0.7	0.6	2.9	0.0	0.0
オホーツク	1,072	1,078	1,063	1,060	1,085	4.8	-0.3	2.3	-0.0	0.1
十勝	1,330	1,360	1,365	1,375	1,438	6.3	0.7	4.6	0.0	0.3
釧路	852	868	867	877	906	4.0	1.1	3.5	0.0	0.1
根室	174	181	184	190	201	0.9	2.9	6.3	0.0	0.1
全道	21,403	21,806	21,744	22,020	22,825	100.0	1.3	3.7	1.3	3.7

保健衛生・社会事業の全道シェア

(令和元年度)



(3) 振興局別総生産の主な増減項目

振興局	総生産(億円)		対前年度 増加率(%)	総生産の主な増減項目
	H30 2018	R1 2019		
空知	9,923	9,999	0.8	製造業や卸売・小売業などで減少したが、建設業や農業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
石狩	92,034	92,124	0.1	卸売・小売業や宿泊・飲食サービス業などで減少したが、保健衛生・社会事業や建設業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
後志	7,643	7,515	-1.7	保健衛生・社会事業や教育などで増加したが、建設業や宿泊・飲食サービス業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
胆振	18,087	17,819	-1.5	建設業や保健衛生・社会事業などで増加したが、製造業や宿泊・飲食サービス業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
日高	2,511	2,494	-0.7	建設業や電気・ガス・水道・廃棄物処理業などで増加したが、製造業や水産業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
渡島	13,498	13,375	-0.9	保健衛生・社会事業や建設業などで増加したが、水産業や製造業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
檜山	1,325	1,344	1.4	製造業や宿泊・飲食サービス業などで減少したが、建設業や保健衛生・社会事業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
上川	17,245	17,188	-0.3	製造業や農業などで増加したが、建設業や宿泊・飲食サービス業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
留萌	1,754	1,734	-1.1	専門・科学技術、業務支援サービス業や保健衛生・社会事業などで増加したが、水産業や建設業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
宗谷	3,010	3,107	3.2	水産業や宿泊・飲食サービス業などで減少したが、製造業や建設業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
オホーツク	11,020	10,844	-1.6	公務や保健衛生・社会事業などで増加したが、建設業や製造業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
十勝	14,177	13,943	-1.6	保健衛生・社会事業や建設業などで増加したが、製造業や農業などで減少したことから、全体としてマイナスとなった。
釧路	9,040	9,073	0.4	卸売・小売業や宿泊・飲食サービス業などで減少したが、製造業や保健衛生・社会事業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。
根室	4,013	4,086	1.8	水産業や宿泊・飲食サービス業などで減少したが、建設業や製造業などで増加したことから、全体としてプラスとなった。